

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成28年度

上位の施策名称 施策なし

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

河川課長 田中 悟

電話番号

0852-22-5195

|         |  |                            |
|---------|--|----------------------------|
| 事務事業の名称 | 採石関係業務   |                            |
| 目的      | (1) 対象   | 採石場周辺の住民                   |
|         | (2) 意図   | 災害を未然に防止し、生命財産が保護されるようにする。 |
| 事業概要    | 岩石の採取の事業についてその事業を行なう者の登録、岩石の採取計画の認可その他の規制等を行ない、岩石の採取に伴う災害を防止し、岩石の採取の事業の健全な発達を図る。 |                            |

## 2. 成果参考指標

| 成果参考指標名等 |      | 年度                | 27年度  | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 31年度 | 単位 |
|----------|------|-------------------|-------|------|------|------|------|----|
| 1        | 指標名  | 年度間の未廃止・無認可採取場減少数 | 目標値   | 2.0  | 2.0  | 2.0  | 2.0  | 箇所 |
|          | 式・定義 | 未廃止・無認可採取場を減少させる  | 取組目標値 |      |      |      |      |    |
|          |      |                   | 実績値   | 1.0  |      |      |      |    |
|          |      |                   | 達成率   | -    | -    | -    | -    | %  |
| 2        | 指標名  |                   | 目標値   |      |      |      |      |    |
|          | 式・定義 |                   | 取組目標値 |      |      |      |      |    |
|          |      |                   | 実績値   |      |      |      |      |    |
|          |      |                   | 達成率   | -    | -    | -    | -    | %  |

## 3. 事業費

|             | 前年度実績 | 今年度計画 |
|-------------|-------|-------|
| 事業費(b) (千円) | 398   | 508   |
| うち一般財源 (千円) | 398   | 508   |

## 4. 改善策の実施状況

|                     |          |
|---------------------|----------|
| 前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況 | ③改善策を検討中 |
|---------------------|----------|

## 5. 評価時点での現状 (客観的事実・データなどに基づいた現状)

・単年度の目標は達成できなかった。なお、21箇所の未廃止採取場がある。

## 6. 成果があったこと (改善されたこと)

・引き続き未廃止採取場について、跡地処理を行うよう業者へ指導をしている。

## 7. まだ残っている課題 (現状の何をどのように変更する必要があるのか)

### ①困っている「状況」

・業者の所在が不明な未廃止採取場がある。

### ②困っている状況が発生している「原因」

・経営状況が悪化し、跡地整備工事をする経費が不足している事業者がある。

### ③原因を解消するための「課題」

・定期的にパトロールを実施し、新たな未廃止採取場が発生しないようにする。  
・未廃止採取場の廃止に向けて、事業者を指導する。

## 8. 今後の方向性 (課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

・未廃止採取場を増やさないため、事業者が倒産・消滅に至る前に廃止処理を指導できるようパトロールを強化する必要がある。また事業者が倒産・消滅した採取場について破産管財人や土地所有者などと協議し、廃止措置ができるよう交渉する。

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

## 9. 追加評価 (任意記載)